

## 地域づくり協議会だより

発行日：令和3年 11月 1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会 広報部

一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内)電話：28-9006

◎原稿募集中

## 「児童虐待防止推進月間」(11/1~11/30)

厚生労働省は、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に関心と理解を得るために、広報・啓発活動など、種々な取り組みを実施しております。一宮市も児童虐待防止講演会を行い、大和町連区の民生・児童委員も多数出席し、今後の取り組みに有用な内容であったと伺いました。

市の第17回市政アンケート(令和3年2月)の『体罰と児童虐待』の項目において、25.8%の方が「子どもにしつけと称して体罰を与えた」。また、体罰は、「行うべきでない」41.8%、「良くない手段だと思うが他に手段がない場合は、やむをえない」31.1%、「子どもが言うことを聞かない場合など、状況によっては必要」21.8%、「有効な手段なので積極的に行うべき」0.4%となっています。

愛知県の発表によると、2020年度の児童虐待相談対応件数は、6,019件、名古屋市を含めて9,884件となっています。

最優秀受賞者は、私も子育てで大変なことがあります。手助けをしてくれる実家が近くにありますが、それでも大変。「これが一人だったら、もし虐待をしている親だったら、通報されたら「ホッ」とするのか。環境はすぐには変えられないから。通報は勇気のある行為です。でも虐待かもと思ったら「胸を張って、自信を持って通報して欲しい」と想いを語っています。

出典：子ども虐待防止オレンジリボン運動

「2021年度ポスターコンテスト最優秀賞」



救いたい

命も心も子どもも親も

## しつけと体罰は何が違うの？

しつけとは、子どもの人格や才能などを伸ばし、社会で自律した生活を送れるなどの目的から、子どもをサポートして社会性を育む行為です。身体に苦痛を引き起こさせたり、不快感を意図的に促したりする行為や罰などは、体罰に当たり法律で禁止されています。体罰の即効性を求め、感情的にエスカレートさせて虐待につながる事例が多々あります。親の上目線で高圧的になりたたくこともあるようです。怒鳴ったり、心を傷つけたりする暴言、また、けなしたり、笑いものにしたりする言動も子どもの心を傷つける行為として子どもの権利を侵害します。

特集  
子ども会

子ども会とは、同じ地域に住む子どもを中心とする異年齢集団で、レク、スポーツ、文化、社会奉仕などの活動を通して、学校や家庭では体験できない仲間づくりをすすめ、子どもの社会性や自主性を育む団体のことです。子どもの育ちの大切な場となっている子ども会を紹介しています。

## 宮地2丁目子ども会

男子13人、女子12人  
〈新入生歓迎会〉

新1年生6名を迎え、上級生の子どもたちも良きお手本としてがんばってくれました。少人数なので、

お互いの顔も名前もすぐに覚えられます。昭和49年4月発足した子ども会をこれからも大事にしていきたいです。地域の行事の際、町内の皆様のサポートのもと楽しい時間を過ごしています。



## 大和団地子ども会

男子5人、女子4人  
〈新入生歓迎会〉

公園の遊具に貼ったシールを探し、「宝探しゲーム」を行いました。一人ずつシールを準備しましたが、最後は見つけられない子の分をみんなで協力して探すことが出来、歓迎会としてとても良い思い出となりました。少人数の子ども会のため、学年問わず仲良く活動が出来る。高学年の子が低学年のお世話をするのが良いところでは





# 高齢者総合相談窓口 『萩の里』の取り組み

住所：萩原町東宮重・蓮原36-1  
電話：(0586)67-3633



一宮市地域包括支援センター萩の里では、8月12日に大和公民館にて、「高齢者が安心して暮らせるまちづくりを考えよう。～あらゆる特殊詐欺から地域住民を守るためには～」をテーマに大和町連区の民生児童委員さん、ケアマネジャーさん、金融機関の職員の方などにご参加いただき、弁護士さんと一宮警察署の方からの講義と特殊詐欺に関する事例を用いたのグループワークを行いました。それぞれの立場から何ができるかなど積極的な意見交換を行うことができ、お互いの役割で何ができるかの理解を深めることができました。今後も地域づくり協議会だよりを通じて、地域の皆様方に地域包括支援センターを知っていただければと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。

## 特集 ふれあいサロン

**ほほえみサロン** 代表：藤堂信子 取材日 令和3年4月24日  
大和団地集会所 第4土曜日 AM10:00～11:30

コロナ禍なので換気をとりながら、声と手を使い頭の体操。新たに2名の参加者があり、名前を覚えてもらう為、ゲーム式で名前交換をしました。去年は牛乳パックで椅子を作りましたので、今年は布を使って干支の人形作りはどうですかと提案しました。



**昭和2丁目ふれあい・いきいきサロン** 代表：木村正一  
喫茶オニオン 奇数月最終土曜日 PM2:30～ 取材日 令和3年3月27日

令和2年度は、コロナ禍ではありましたが、感染防止(マスク着用、手指消毒、検温)を図って4回開催し、最後の今回は、町内在住のマジシャン富田様による「マジックショー&アルソミトラ型の紙飛行機作り」をテーマに行いました。当日は、いつものようにお茶とマスク越しの「おしゃべり」を楽しんだ後、トランプ・マジックを始め、コーラ・モンテ、数種の外国紙幣が一瞬に一万円札に早変わりするなど、綺麗かつ多彩なマジックを披露していただき、会場内は驚きの歓声と拍手に包まれました。さらに、全員(参加者25人)参加の数字マジック(ラッキーナンバー?)、アルソミトラ(東南アジア等に生息するつる植物)の「羽を付けた種子」絵の型紙をハサミで切り取った紙飛行機に、ゼムグリップを付けてゆっくり落下することに挑戦し、楽しい一時を過ごしました。



**サロンすえひろ・2** 代表：太田一弘 取材日  
刈安賀集会所 第3月曜日 PM1:30～3:30 令和2年12月21日

正月のチョットした飾り作りを目指し、鶴(羽根を広げた)と亀、そして小型の正月飾りを私はじめ4名のボランティアの指導で完成を目指しました。はじめの内は、ここどう折るの連続でしたが、少し時間が経つと皆さん一生懸命作品作りに集中。一つひとつ完成すると、隣の人にみてみてと促し、上手に出来ましたネと言われて、ほっとして見えました。最後のティータイムでさらにヒートアップ。皆さん見せ合い嬉しさ一杯。正月に玄関に飾りますと言って帰途につかれました。お元気でよい新年をお迎え下さいと、ボランティア全員で見送り終了しました。



### お詫びと訂正

昨年、3月「キラリ!!輝く大和」を皆様のお手元にお届けし、ご利用いただき嬉しく思っております。発刊以来多数誤記の連絡をいただき感謝しています。下記のとおりまとめて訂正させていただきます。皆様にお詫び申し上げます。



P	行	誤	正
10	上から6行目	不浄徐	不浄除
11	⑤写真	懸社	縣社
15	上から7行目	鎮座	鎮坐
16	上から5行目	当時	当初
20	上から3行目	御弊	御幣
21	上から1行目	で南東に向きを変える	が分岐する
21	上から9行目	浅井高政	浅井政高
22	上から5行目	浅井高政	浅井政高
32	上から10行目	この先	さらに
33	上から16行目	倭姫	日本武尊
51	上から11行目	浅井高政	浅井政高
53	上から18行目	でしたが	も走っていましたが
ふれあいサロン名称		馬引ふれあいいきいきサロン	馬引ふれあいいきいきサロン



**記念品** 大和町連区地域づくり協議会だより39号で掲載したあいさつの日標語募集について  
優れた作品については記念品が出ることになりました。最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞3点です。締切りは、11月30日(火)となります。たくさんのご応募をお待ちしております。  
(選考結果は地域づくり協議会だより3月号で発表します。)